

ぎふ感染症かわら版

令和7年7月10日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



「マダニ」が媒介する感染症が発生しています！

2025年7月、県内で「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」の患者が報告されました。岐阜県内でSFTSの患者が報告されるのは初めてです。

また、2025年5月および6月には、県内での感染が疑われる「日本紅斑熱」の患者が報告されており、十分な注意が必要です。

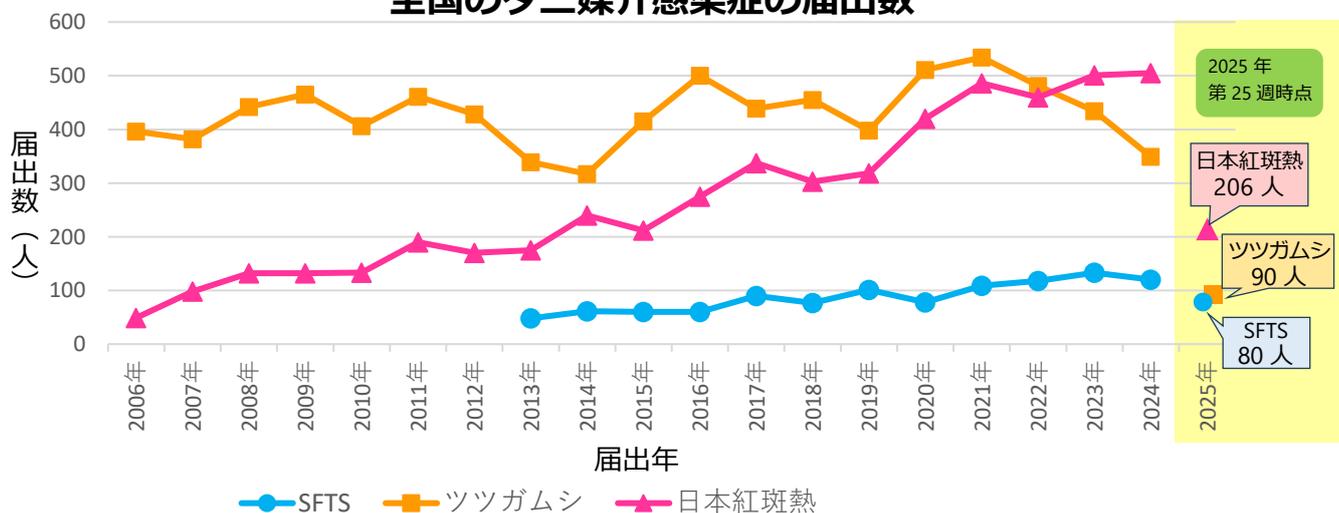
ダニ媒介感染症について

SFTS、日本紅斑熱は、病原体を保有するマダニなどに咬まれることで起こるダニ媒介感染症です。マダニは野山や草むら等に生息しており、春から秋にかけて活発化します。人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのマダニの生息場所に立ち入ると、マダニに咬まれて病気を発症することがあります。

◆主なダニ媒介感染症◆

	SFTS	日本紅斑熱	ツツガムシ病
病原体	SFTS ウイルス	日本紅斑熱リケッチア	ツツガムシ病リケッチア
媒介動物	フタトゲチマダニ、キチマダニ等のマダニ	フタトゲチマダニ、キチマダニ等のマダニ	ツツガムシ（ダニの一種）の幼虫
潜伏期間	6日～14日	2～8日	5～14日
症状	発熱、消化器症状（食欲低下、嘔吐、下痢など）、血小板や白血球の減少	頭痛、発熱、発疹（四肢末端に多い）、肝機能障害、多臓器不全	高熱、発疹（主に体幹）、だるさ、リンパ節の腫れ
岐阜県での報告状況	1例目：2025年7月	1例目：2021年12月（県外感染の疑い） 2例目：2025年5月 3例目：2025年6月	年間20人程度（10月から11月）
治療	対症療法、抗ウイルス薬	抗菌薬（テトラサイクリン系）	
予後	致死率10～30%	治療が遅れると死亡することもある	

全国のダニ媒介感染症の届出数



(感染症発生動向調査)

マダニの特徴



吸血前のマダニは通常 0.5cm 程度と小さく、気づかないうちに衣服に付着していることがあります。



マダニから身を守るポイント

● 生息場所に注意する

マダニは、野山や草むらのほか、民家の庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

● 身を守る服装をする（※熱中症予防も十分行ってください）

草むらなど、マダニが生息していそうな場所では腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう。

（例：長袖、長ズボン、手袋を着用し、首にはタオル等を巻きましょう。）

マダニが侵入しないよう、衣服の隙間を覆いましょう。

（例：袖口を手袋の中に入れる。シャツの裾をズボンの中に入れる。など）

● 忌避剤を使用する

肌が露出する部分はマダニに対する忌避剤(虫よけ剤)を使用しましょう。



● 屋外での活動後も気を抜かない

作業服などは、家の中に持ち込む前にマダニが付着していないかよく確認しましょう。

ガムテープを使って服に付いたマダニを取り除く方法も効果的です。

もし咬まれた場合は・・・

数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状がでた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。医療機関ではマダニに咬まれたことを忘れずに伝えてください。

（参考）厚生労働省ホームページ（ダニ媒介感染症）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

岐阜県公式ホームページ

（ダニが媒介する感染症）<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/10611.html>

（動物由来感染症について）<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13315.html>

SFTS は、ダニからの感染だけでなく、SFTS ウイルスに感染したイヌやネコからヒトへの感染が疑われる事例も国内外で報告されています。岐阜県のこれまでの調査結果から、身近な動物がダニ媒介感染症の病原体を保有している可能性もあるため、動物と触れあう際には注意が必要です。

◆ 動物からの感染を防ぐために ◆

動物に触ったら必ず手洗い

口移しなどの過度な触れ合い禁止

外に出るペットはダニ予防



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

